

SPECIAL ACTIVITIES 2

平成 28 年度 小石小学校 主題通信 04.08

学級会に向けて、計画委員会を組織しよう！

4月7日の学級開き、どのクラスも担任の先生方の特色が表れた素敵な学級開きだったようです。先生方、お疲れ様でした。昨日と今日で、学級の当番やルールなども決まってきたのではないのでしょうか。学級の計画委員会も早めに組織すると、学級会の滑り出しがスムーズです。計画委員会の組織のあり方を解説します。

計画委員会の作り方

計画委員会とは、学級会の司会・黒板記録・ノート記録の役割を担当するグループのことです。学級全員が所属し、この計画委員会を経験します。通常5人から6人で構成します。ポイントを以下にまとめます。

- ① 学級全員が所属する。
- ② 5人から6人で構成し、グループ化する。
- ③ 司会、黒板記録、ノート記録で構成する。
- ④ 計画委員会は輪番制にする。



ノート記録



司会



黒板記録

計画委員会は背面黒板に掲示し原則として1年間同じグループで回していきます。役割も輪番制にすることで、どの子も話合いの進め方を体験し、司会以外の児童が進行についてアドバイスするようになり学級会が円滑になります。

計画委員会の仕事

計画委員は、ただ司会や記録をするだけではなく、1つの議題について、事前から事後にいたるまでの責任をもつようにします。計画委員会の主な仕事を次のようにまとめました。

- ① 集まった議題を選定する。
- ② 選定した議題を全体に知らせ、議題を確定する。
- ③ 役割を決める。(司会・黒板記録・ノート記録)
- ④ 提案理由を明確化する。
- ⑤ 柱を決める。
- ⑥ 「議題」「提案理由」「柱」を学級会ノートにまとめ、全体に配布する。
- ⑦ 話合いの具体的なイメージを持たせるために、シュミレーションを行う。
- ⑧ 話合いの進行をする。

計画委員会を決める際には、子どもの力が大きく偏らないように、前の担任に話を聞いたり、子どもの様子をよく観察したりして決めることが大切です。充実した話し合いを経験させ、子どもたちの手で素晴らしい活動にしていき、また、子どもたちの力でよりよい人間関係を作らせていきましょう。

